

2021 年 12 月発行

理事長一言 「おもしろいこと？」

早瀬 隆司



「おもしろいことやろうね」というのは、ECAN の杉山理事の昔からの口癖である。当たり前のように聞こえるけれど、最近になってその言葉の重みをひしひしと感じるようになってきた。ECAN も関与しながら「オランダ坂こども食堂」を開始して1年余り経過したが、地域のボランティアの人たちがどんどん増えていく。そして、お手伝いをして、「面白かった！」と言って帰ってくださる。世知辛い今を生きる近代人にとって、数えきれないほどの世間の苦しみや刹那的な娯楽がある。しかし、次世代を担っていくこども達のために働くことは、どうも多くの人間にとって「おもしろいこと」であるようだ。また、ながさきエコライフ・フェスタの一環としてごみ回収活動をした時、参加してくれた家族連れの方たちが、突然「うわー！」と楽しそうに大歓声を上げた。道端にあるごみを見つけた時の喜びの声だった。不公平や環境の問題に関わること、あるいはそれによって苦しんでいる人たちに関わること、これらも「おもしろいこと」なのだ。あるいは面白いことになりうるのだ。ECAN の存在意義は、このような「おもしろいこと」を楽しむための基盤（流行りの言葉では「プラットフォーム」）であることだと思う。たくさんのおもしろいことを楽しみたい。

若者達市議会議場に集結！・・気候変動「市民連携フォーラム」

11 月 14 日（日）に 30 名余りの若者達（大学生＋高校生＋中学生）が市議会議場に集結！！

長崎市長や市議会議長を含む 8 名の市議会議員に対して、次世代のステークホルダーたちが気候変動問題への対策推進を提言するための「市民連携フォーラム」が開催された。「長期的な視点からの政策」推進をはじめ、再生可能エネルギーの普及や公共交通機関の利用促進方策などが提案され、長崎市の政策中枢と互角にわたりあい、共通の認識を共有することができた。世代間の議論を活性化することを通して、この問題への市民の関心が高まっていくことが期待される。サステナプラザながさが主催し、ECAN と NPO 法人長崎 SDG s クラブが協力しました。



海へ流入するプラごみを無くすために・・・長崎県と調査の実施

長崎県から海のプラスチック汚染にかかる啓発活動の相談を受け、「令和3年度海洋ごみ発生抑制対策調査」業務を委託で実施することになりました。感染症対策の影響で大人数が集まるようなイベントが実施できないので、我々の生活に起因するごみの散乱状況を把握することと、それをもとに削減のための啓発資料を作成しています。「便利はもとに戻らない」という、プラスチックごみの本質を突いた名言を考案された矢野理事が、長崎大学のながさき海援隊の隊員やOBの阿部さん、そしてECAN中本理事の協力を得ながらこの事業を切り盛りしてくださっています。深刻な海岸漂着ゴミ問題への広い認識を！

山から海までプラスチックごみ回収大作戦

海洋プラスチックごみに関する普及啓発活動の一環として市民活動団体等と協力して「山から海までプラスチックごみ回収大作戦」をサステナプラザながさきで企画し、長崎市主催の「ながさきエコライフ・フェスタ2021」と合同開催とし10月24日（日）に実施しました。

山（現川森林公園）、街（ベルナード観光通り～中島川～長崎市民会館）、川（大橋周辺の浦上川）、海（高浜海水浴場、脇岬フェリーパーク周辺）の5個所を市民参加で清掃しました。



将来の変革のために・・・ESD（ESDは「持続可能な開発のための教育」の略語です）

長崎市立高城台小学校5年生3クラスを対象としたESD教育を今年も関連団体のNPO法人ながさきエコネットと協力して実施しました。

9月7日（火）に「環境と生活のつながりを見つけ、自分の貢献方法を見つけよう！」という長崎大学教育学部教授藤本登先生の出前講座を実施しました。それを受けて10月1日（金）には、7つのテーマで地域の環境活動についてのミニレクチャー講座を実施しました。コロナ対策もあり、藤本先生には二グループに分けて2回の講義をお願いすることになりました。自転車発電や、炭酸ガス臭体験もあり有意義な講義でした。そして、11月5日（火）には7つのグループ調査、見学、体験学習を実施しました。グループでの研究考察をまとめ、1月末頃に成果発表会です。



〔藤本 登先生 出前事業〕



〔7人のGT ミニレクチャー風景〕

エコドライブ普及事業



10月23日(土)24日(日)の二日間、「ながさきエコライフ・フェスタ 2021」が開催され、メイン会場の長崎市民会館で、エコドライブ普及活動を行いました。ECANは、サステナプラザながさきの運営団体としてエコライフフェスタ全体の運営にも目配りしながら、多忙な二日間でした。お手伝いいただいた会員の皆様ご苦勞様でした。感謝です。



11月27日(土)28日(日)は、「島原ふるさと産業まつり」が復興アリーナで開催され、島原市からの要請に応じて、エコドライブ普及活動を行いました。こども達が安全な運転は二酸化炭素の排出抑制にもつながることを理解する学びの機会になりました。兵働会員には、二日にわたり担当協力いただきました。感謝です。

SDGs 普及セミナー・・エコアクション 21

環境コンサルティング協会長崎では、エコアクション 21 地域事務局として、企業の環境経営活動の認証業務を受け持っています。12月8日(水)には、サステナプラザながさきを会場として「SDGs 導入セミナー」を実施しました。企業の価値も「環境・経済・社会」の統合的な取組みを考慮して判断される時代になりつつあり、人権や環境に対する社会的責任をも反映した経営が強く求められています。セミナーでは、SDGs を経営戦略と整合させていく導入手順が提案され 41 人の企業人が参加し、学びあいました。

2070 年の Nagasaki を想う会・・みんなで学ぼう 次世代のために！

環境コンサルティング協会長崎では、毎月、いろんな分野の活動をされている方からのお話を聞いて語りあう場を持っています。次世代の人達の長崎にどうつないでいくのかを学びあう場です。会員の方にメールでご案内します。ご参加お待ちしております。喉も潤いますよ。



10月20日(水)

地域の河川や環境保全の活動について



11月17日(水)

長崎市の脱炭素都市への脱却の道筋をともに考える

新会員紹介

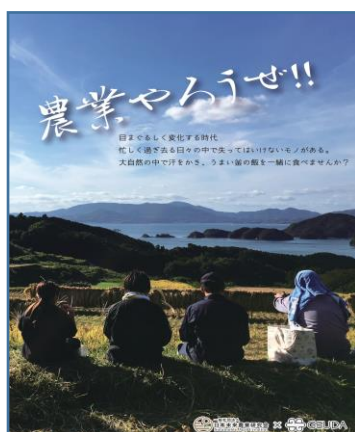
新しい仲間が増えました。新会員の皆様、ようこそ環境カウンセリング協会長崎へ！

兵働 陽介（6月20日入会）・甲斐 智子（7月26日入会）

熊川 泰秀（9月22日入会）・小柳 隆（11月8日入会）

農業やろうぜ！！ 棚田プロジェクトの活動紹介

前田理事から「棚田プロジェクト」活動について皆さんにお知らせしたいと連絡をいただきました。棚田プロジェクトは、年々失われゆく棚田を再生し次世代につなげていくため、関係人口を増やし、参加者と「農作業や収穫物」を共有し、さらに農業を通じて「感動体験」や「学び」なども共有する全く新しい「自給自足のシェアリングエコノミー」です。



<https://re-tanada.com/>
詳しくは WEB で

令和3年度会費納入のお願い

会費・寄付募集中！環境についてともに考え活動しませんか？

環境カウンセリング協会長崎は、事業者、学術機関及び行政のパートナーシップの形成を図り、それぞれの環境への取り組みを支援することを目的に設立されました。環境に配慮した社会を根付かせ、人と自然が共に生きる心豊かな長崎を次世代に引き継いでいくために、企業、団体、学術 機関、行政そして市民としてそれぞれの立場からのご支援とご協力をお願いいたします。

会員の種類	入会金	年会費
個人会員	1,000円	3,000円
学生会員		1,000円
企業会員		10,000円
団体会員		3,000円
賛助会員		一口5,000円以上

振込先

特定非営利活動法人
環境カウンセリング協会長崎
十八親和銀行 県庁支店
普通預金 0051154

ECANつうしん No.14 (2021年12月)

発行：NPO法人環境カウンセリング協会長崎
住所：長崎市五島町3-3 プレジデント長崎206号
E-mail：jimu@npo-ecan.org
URL：http://www.npo-ecan.org/

TEL：095-818-3305
FAX：095-826-3693

編集 早瀬・太田